14. 脊柱側弯症を伴った巨大脊膜ヘルニアの症例

脳神経外科

市橋  匠, 飯田  茂雄, 中川原 優三

（市立敦賀病院外科）

この症例は、2歳の男児で、胎盤頚側弯症を伴った巨大脊膜ヘルニアを生後1年で発見された症例である。胎盤頚側弯症は、胎盤内に形成される異常構造で、脊椎の側弯を引き起こす。


第31回日本小児外科学会北陸地方会

会期：平成13年9月1日（土）

会場：金沢大学医学部

会長：渡辺 一剛

1. 正中頭裂の1例

脳神経外科

二谷  拓哉, 佐々木  直, 酒井  功

（金沢大学医学部）

正中頭裂は垂下性鼻頭裂および外鼻頭裂の合併症とされる。本例は、生下時に頭部皮膚の異常と頭蓋骨の欠損を伴う症例で、出生後1ヶ月で手術を施行した。

2. 背部異常の1例

脳神経外科

本多  太一, 太田  定夫, 石田  文生

（金沢大学医学部）

本例は、胎盤内に腎臓異常を伴った症例で、出生時体重が1,500gで、出生後すぐに手術を施行した。

3. 完全脊膜構造異常

脳神経外科

宮本  俊, 永井  昇

（金沢大学医学部）

本症例は、胎盤内に腎臓異常を伴った症例で、出生時体重が1,500gで、出生後すぐに手術を施行した。